

定年後をナビゲートする

あたらしい明日へ

2010年

新春号

東京労福協

新年のご挨拶



労働者福祉中央協議会
会長 笹森 清

新年明けましておめでとぅございませう。
政権交代により日本の政治体制が大きく転換しましたが、雇用は依然として深刻な状況にあります。働くことは生きること——その根本が壊されてしまった日本社会の現実に、政治も私たちの運動も真剣に向き合わなくてはなりません。
中央労福協は結成 60 周年の節目にあたる昨年 11 月の総会で、10 年先を見据えた「労福協の理念と 2020 年ビジョン」を採択しました。これからの社会は、市場や国家のみならず、私たち連帯・協同

セクターが国民の暮らしを支え、社会改革の担い手として重要な役割を果たしていくなくてはなりません。そのためにも、労福協・労働組合・協同事業団体が一体となって、国民の共感を呼ぶ社会運動や事業、地域に根ざした顔の見える活動を展開していくことが必要です。
これまでの運動に自信をもって、みんなの思いをひとつにし、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向かって確実な一歩を踏み出しましょう！



東京労働者福祉協議会
会長 遠藤 幸男

東京労福協に加盟する各団体の皆さま、新年明けましておめでとぅございます。
昨年は、中央労福協結成 60 周年、連合結成 20 周年、鳩山連立政権の樹立による政権交代、民主党の都議会比較第 1 党の実現など、戦後の日本社会の在り方を根本から見つめなおす歴史的転換のスタート台に立つ年となりました。
鳩山政権は、発足後直ちに麻生前政権時代の補正予算の抜本見直しを「国民公開の仕訳方式」など国民の好意的注目を集めました。自公政権が残してきた負債の遺産や、大規模な税収不足も加わり、

マラエト実現を満了するための新年度予算編成において苦慮している状況が続いています。
東京労福協は、このような情勢の中にあっても、連合東京や加盟事業団体の連携を「層強め」、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を目標とする「労福協の理念と 2020 年ビジョン」にそった社会に共感の得られる運動や政策の実現、勤労者の総合生活支援に取り組み労福協運動が社会的な役割を果たしていける基盤づくりに全力をあげていくことを表明し、新年のご挨拶とします。

東京労福協に

ご紹介頂いた皆様からも

新年のメッセージが届きました。

ご紹介致しますと共に、

皆様への応援メッセージも

お待ちしております。

「低炭素社会・元年」を迎えて

昨年末のCOP15は残念な結果に終わりました。でも、地球温暖化は待っているではありません。だからこそ、いま行動が必要です。私は、金融を通じた「社会のお金の流れ」を変えることで、今年を低炭素化への取り組みが本格化する元年となるよう強く願っています。



国連環境計画・金融イニシアティブ
特別顧問
末吉竹二郎

戦後の政治史の中でも大きなエポックとなった政権交代。遠くに見えていた政治がグンと身近に感じるようになった人も多いため、私もその一人です。確かに鳩山首相は難問山積でモタモタしていますが、こぼしばかり見守って行きたいと思いません。ただし、昨年夏の政権選択で、「生活第一」を選んだのですから、労福協の皆さんとともに「より良い生活」の確実な歩みを進めていきましょう。



ジャーナリスト・日本BS放送取締役
一木啓孝

日本BS放送 (BS11)
<http://www.bs11.jp/>

新年、あけましておめでとございます。

昨年は食品ロスの問題を考える企画「捨てないで」を「くらしナビ」面で連載しました。賞味期限が残っているのに、捨てられる加工品、価格安定のため産地廃棄される野菜など・・・

今年は、こうした現状を改善するための方法について考えていきたいと思っております。ご愛読いただければ幸いです。



毎日新聞社生活報道部
小川節子

謹賀新年！東京ボーイズの仲八郎、笑いを商売にしております。全国を「ナカハチトークひとり旅」として年に5〜6回ウクレレ一本で旅もする中、昨年は、大森事務局長のご紹介で、労福協傘下のみなさまにもお会いできました。ふるさと富山県出身立川志の輔座長の元「越中座」公演でもお年寄りや病院などの施設を回り、笑いの恩返しをしています。きびしい経済、笑いで「ふきとばそうではありませんか。」



東京ボーイズ
仲八郎

ナカハチ友の会
03-3906-8316

明けましておめでとございます。
ポカポカ陽射しに包まれて新しい年を迎えました。
世界中の人が、こんな幸せな気持ちで一年を過ごすには、何をすればいいのかな？なんて考えつつ、今年も声を届けていきます！
小さな声も、集まれば大きなメッセージ。共にかんばりましょう。



歌手・NPO法人国境なき楽団代表
庄野真代

2009年11月16日

BS11報道番組「IN side OUT」トブ太カンパ報道



連合・古賀会長、中央労福協・笹森会長が池袋駅前で行ったトブ太カンパを、BS11ジャーナリスト一木啓孝氏がサポートした様子が報道されました。道行く人々が足を止めて聞き入り、30代のOL女性からは「ひとこととは思えません。がんばってください」と激励とカンパを頂きました。



皆様のご協力により、2009年11月30日現在、388,833,585円のカンパが集まりました。

中国労働経済事情視察

東京国際労働事情研究会平成21年度事業の中国労働経済事情視察が12月14日～19日に実施されました。成都に4号店舗を展開するイトーヨーカ堂やジェトロ上海センター、四川省総工会など訪問し、中国のマクロ経済、国民の暮らしや働き方、進出企業の人材育成、税や法律への対応など意見交換、有意義な交流ができました。来年にもアメリカにつぐ第2位の経済大国といわれる中国、大都市の建設ラッシュはすさまじいものであります。半面、環境や民族問題、都市部で働く農民工の失業など、富める者そうでない者、貧富の格差など垣間見ることができました。詳細内容については報告書を参照ください。



2009年12月7日

東京労福協第47回定期総会報告



開会挨拶 伊野瀬副会長
議長 連合東京・鈴木企画局長
来賓挨拶 東京都産業労働局・右井副参事
中央労福協・高橋事務局長

遠藤会長 挨拶

市場経済至上主義のもたらした貧困問題や格差社会には、全国の労福協やNPOなどと提携し、世の中の不条理は許さない運動を展開した。労福協六〇周年記念行事では、原点を再認識するとともに二〇年先を展望した理念と二〇二〇年ビジョンが確認された。

大森事務局長

●成果・引き継ぎ課題報告

雇用と就労・自立支援のための取り組み、高金利借り換え運動の取り組み、改正貸金業法完全施行に向けた取り組み、割賦販売法改正に向けた取り組み、多重債務対策の取り組み、福祉リーダー塾フォローアップ研修等。

●方針

改正貸金業法の完全施行や高金利からの借り換え運動、反貧困運動への取り組み継続、新たなセーフティーネットの構築と労福協運動の社会認知。

小川副会長閉会挨拶

労働者福祉運動の前進に向け、加盟諸団体と連携を強化した活動を展開しよう。

2010年度東京労福協役職員名簿

役職名	氏名	所属団体名
会長	遠藤 幸男	連合東京
副会長	大野 博	連合東京
〃	小川 英一	中央労働金庫東京都本部
〃	石山 康夫	全労済東京都本部
〃	伊野瀬 十三	東京都生協連
事務局長	大森 栄司	連合東京
事務局次長	加藤 貢	連合東京
〃	松村 章治	中央労働金庫東京都本部
〃	荻野 里美	全労済東京都本部
幹事	川本 晃義	連合東京
〃	小侯 要	都労連
〃	高橋 良昌	中央労働金庫東京都本部
〃	山口 篤史	全労済東京都本部
〃	林 和孝	東京都生協連
〃	南波 正仁	中央労働金庫東京都本部
〃	佐々木 香三	社東京労働者共同保証協会
〃	峰崎 久雄	労働者サービスセンター
〃	高田 一雄	中央労働者福祉基金協会
〃	永見 和彦	日野市労福協
〃	田辺 稔行	東京高連連
会計監査	吉川 聡子	中央労働金庫東京都本部
〃	松本 三喜男	全労済東京都本部
顧問	天井 修	東京労働者福祉協議会

五団体セミナー

連合東京・中央労金東京都本部・全労済東京都本部・東京都生協連・東京労協 日本の食料自給率と飽食を考えよう!

2009年11月7日(土)13時30分より田町交通ビル6階大ホールにて、146名の参加で開催しました。今回は「食の問題を考える」セミナー企画で、基調講演として末吉竹二郎氏に「地球環境と食の問題」活動報告では、「世界の飢餓と食料事情」・「生ごみリサイクル活動」・「日本流フードバンクの活動」・



「食の大切さ、取材を通じて感じたこと」等、4人の講演を受け、貴重な食べ物をつけて無駄にはいけないと考えさせられるセミナーでした。次回のセミナーにご期待下さい。

賀川豊彦 一献身100周年一

「賀川豊彦 愛と社会正義を追い求めた生涯」

定期総会第2部の記念講演では、賀川豊彦記念松沢資料館から杉浦秀典学芸員をお招きし、賀川豊彦氏の生い立ちから、救貧活動、労働組合運動、生協・共済・協同組合金融の創設等についてご講演を頂きました。日本の近代に大きな足跡を残してくれた賀川氏は1947年・48年連続ノーベル文学賞の候補になっていたことも、はじめて知りました。



賀川豊彦記念・松沢資料館 世田谷区上北沢3-8-19

生活サポート基金からのお知らせ

当法人は多重債務者や生活困窮者の生活再生を目的とした下記の事業を行っております。

①東京都多重債務者生活再生事業

東京都との提携による、借りられなくなった方に対する低利の公的セーフティネット貸付制度です。

②生活相談および貸し付け事業

相談員が身近な存在として、問題解決までフォローします。東京都の貸付制度の対象にならない方等にも対応しています。

③個人再生ファンドの募集時

当法人独自で行う貸付制度の貸付原資を確保するため、広く一般の方からファンドへの出資を募集しています。

一般社団法人 生活サポート基金

- 貸金業登録：都(2)第29951号
 - 第二種金融商品取引業登録：関東財務局長(金融)第1976号
- 〒104-0061 東京都中央区銀座4-14-11 七十七ビル3階
お問い合わせ TEL①03-5565-1195 ②③03-5565-1190

労金緊急融資のお知らせ

全国労働金庫協会(千代田区・理事長 岡田康彦)の会員である全国13の労働金庫(ろうきん)は、「就職安定資金融資」の取り扱いを行っています。

本融資は、「解雇や雇用期間満了による雇止め等による離職者で、それまで入居していた社員寮等からの退去を余儀なくされる方々に対して、住居入居初期費用などの必要な資金をご融資することにより、これらの方々の住居と安定的な就労機会が円滑に確保できるよう支援する」ことを目的とし、厚生労働省からの要請を受け、取り扱いに至ったものです。

全国労働金庫協会 総務総括部
電話番号：03-3295-0718

編集後記

政権交代で新年を迎えた。100年に一度の大変革時代「新しい扉」の前に立ったと言われるが厳しい現実には変わりはない、一人の歩より100人の歩「絆」を合言葉に勇気をもって歩み出した。改正貸金業法の雲行き怪し、後戻りは許さない。労協運動も60年を経た「人と人との支え合い」運動の原点を大事にしたい。 東京労協 事務局長 大森 栄司

いろいろな暮らしがあります。その暮らしの数だけ、もっと、それ以上の、「夢」があります。そんなみなさんの夢をひとつずつ、ひとつずつ、「カタチ」にしていくお手伝い。そんなみなさんの夢を応援していく、働く人のための金融機関です。

もっとサポート ずっとサポート
中央ろうきん

茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨の各都府県でお持ちしております。

ろうきんイメージモデル 高垣 穂子

ZENROSAI NEWS

今こそ、確かな安心を選ぼう。

何よりも加入者の皆さまの安心を第一に考えたいから。

営利を目的としない「保障の生協」である全労済は、火災はもちろん、地震・風水害・盗難まで幅広くカバーします。

自然災害保障付 火災共済

程々のことなら 全労済 東京都本部